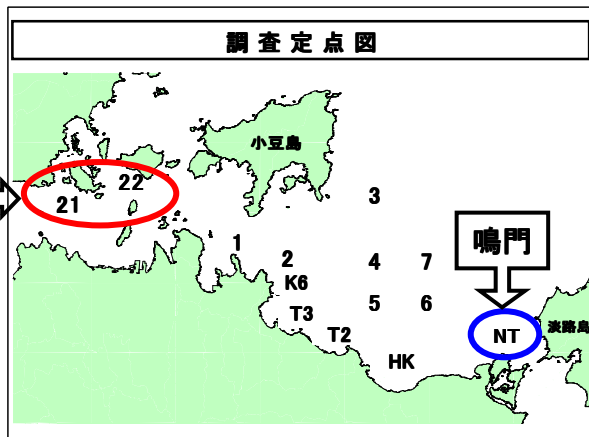


カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2010. 5- 1)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



調査方法

調査日: 5月6日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点(中旬のみ)
(調査定点図参照)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.5.8	0	6	0	0	22	0	0	6	4	2	19	0	0	-	5.4	
2008.5.2	2	16	4	11	17	6	8	3	1	2	11	0	0	-	7.4	6.2
2009.5.8	84	39	2	9	218	84	4	161	145	36	1	1	1	-	71.2	60.4
2010.5.7	0	0	1	0	1	10	9	0	0	1	0	0	0	-	2.0	1.7

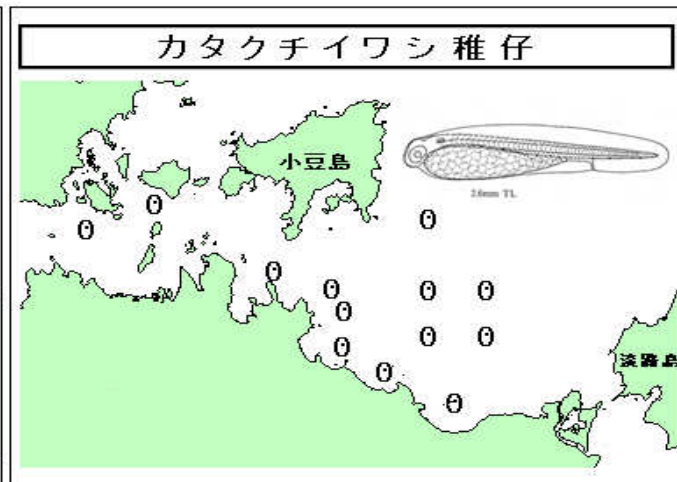
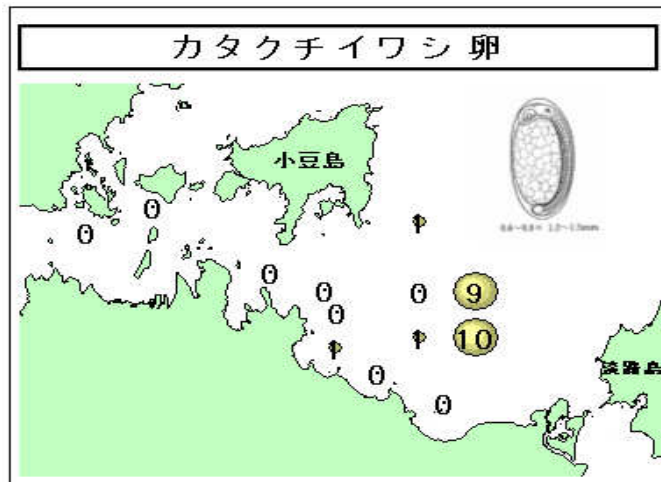
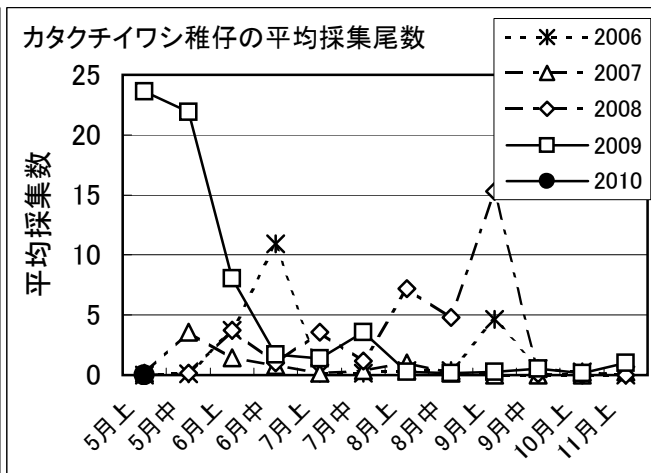
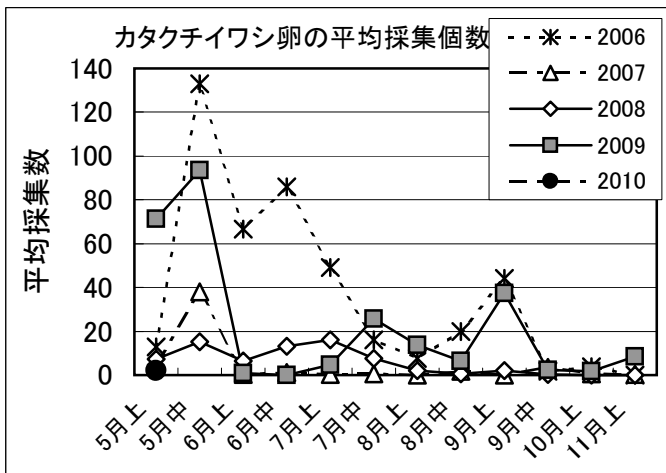
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2007.5.8	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.2	
2008.5.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0	0.0
2009.5.8	14	13	5	12	21	127	30	22	2	7	7	0	0	-	23.6	20.0
2010.5.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.0	0.0

* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。

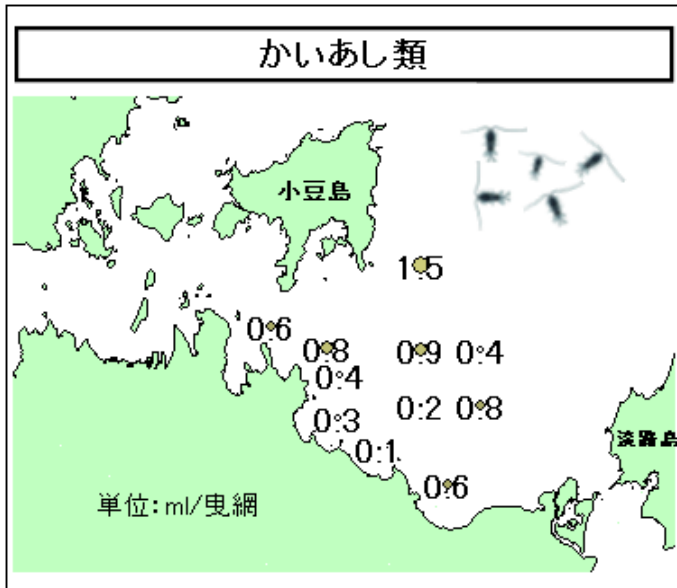


播磨灘11定点における卵の平均出現数は約 2個となり、昨年同時期を大きく下回った。卵の出現は沖合で多い傾向を示した。

一方、稚仔の出現は0尾であり、昨年同時期を下回った。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、3月下旬以降の水温は平年を下回って推移している。餌料生物として重要なかいあし類は、沖合で多い傾向であった。

【参考】



※NTは欠測。

